

# 全国地域づくり人財塾

地域活性化のためには、様々な知識・経験を持った人が、その知識・経験とアイデアを活かしながら、それぞれ活動に取り組み、地域で様々な活動が展開されている状況こそが大切です。そのような状況を生み出すために必要となる、地域づくり活動を自らの手で企画し実践できる人材、すなわち「地域づくり人」を育成するため、本講座を開催いたします。地域づくりに実績がある豪華な講師陣、そして熱い志を持つ全国からの参加者と熱い議論をしてみませんか？

開催要領

- 日程** 令和3年5月12日(水)～5月14日(金) (3日間)
- 場所** 全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分
- 対象** 市区町村等職員、地域づくりに取り組むNPO関係者及び地方創生カレッジ受講中又は受講済みの方  
3日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。
- 募集人数** 50人 募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。  
なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。
- 宿泊** 研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。
- 経費** 10,850円 左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食2回、昼食3回、夕食2回)、資料等にかかる費用です。  
なお、事前準備・事前学習にかかる費用は含まれておりません。
- 申込期限** 令和3年3月26日(金)まで  
※新型コロナウイルス感染症の影響により、申込期限内での申込みが難しい等がございましたら、ご遠慮なくご相談ください。
- 申込方法** JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申し込みください。  
議員の方は、議会事務局を通じてお申し込みください。  
[Web申込み]が難しい場合は、受講申込書によりFAXでも受け付けています。  
※受講申込書はJIAMホームページの書類様式集(<https://www.jiam.jp/doc/>)に掲載しております。
- 受講決定** 受講の可否については、通常、開講日の約1か月前までに通知をお送りしておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、2～3週間前までの送付となる場合もございますので、ご了承ください。  
経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。
- 事前課題** 研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

問い合わせ先

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部  
〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL.077-578-5932 FAX.077-578-5906  
[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] <https://www.jiam.jp>

令和3年  
5月  
14日(金)

9:00～9:25

**グループワーク** 前日に引き続き、実践事例や講師との直接対話を踏まえ、グループでの議論を深めます。

9:25～10:35

**実践事例5 「グローバル視点による地域活性化」**

日本文藝家協会会員 ジャーナリスト 三神 万里子 氏

慶應義塾大学(SFC1期)卒業とともに独立開業。地域創生が注目される以前より15年超に渡り国内外の先端事例を発掘し続け、産業分野を横断したビジネスモデル情報を国内外の財界、金融機関、政府向けに多数提供している。国立情報学研究所プロジェクト研究員、信州大学経営大学院(MBA)客員准教授を経て、NHK地域経済番組(全国放送及び近畿)解説者及びメインキャスター、民放にて地方都市発経済番組の設立委員(解説・メインキャスター兼務)も多数実績がある。日本の地方事例、技術開発事例についてNHK国際放送(英語)にて海外向けに発信し解説者を務めるほか米国Time, Inc経済誌にて執筆(世界銀行政策研究誌参考文献掲載)。グローバルとローカルを繋げる情報力と、地方ごとに分析した具体的な解決策提供に定評がある。金融、人事、組織論、ガバナンス分野にて著書多数。経済産業省中小企業政策審議委員、安全保障貿易管理有識者会議委員、ものづくり日本大賞中央選考委員、総務省地域循環創造事業交付金審査員ほか、公職多数。自治体や民間企業向けのアドバイザーサービスも実施しており近年はデジタルメディア業界とクリエイティブディレクション(ブランディング)も守備範囲に含む。

10:50～12:00

**グループワーク** グループワーク発表に向けての準備を行います。

13:00～14:10

**成果発表と振り返り** 3日間のグループワークでの検討結果を各班より発表します。

14:10～14:30

**研修アンケート記入、閉講**

- 各講師が講義を行っている一般財団法人地域活性化センター等が提供する「地方創生カレッジ」の講座を受講したり、関係HPを参照してから、当人財塾に臨むことにより、講義への理解がさらに深まることが期待できます。

令和元年度研修受講者の声 ～研修アンケートから～

- 濃密な3日間を過ごすことができました。
- 人財塾に参加する前と後では、地域づくりに関する考え方がガラッと変わりました。
- 講師の先生方や他の受講生の方々の熱い話を聴き、モチベーションが高まりました。
- 講師のパワーを感じた。具体的な打ち手についてイメージできました。

- 研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。  
なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。
- 研修内容の記録を目的として、主催者側において写真撮影を行います。また、写真はHP等で掲載される場合があります。予めご了承ください。  
ただし、受講者による講義中の録音・写真撮影は、固くお断りしております。
- 当研修所では、宿泊室を全室禁煙としております。喫煙は所定の喫煙場所をお願いいたします。

JIAMメールマガジンのお知らせ

当研修所では、メールマガジンを発行しています。各研修に関する最新情報などを定期的にお知らせします。ぜひご登録ください。読者登録は、JIAMホームページで受け付けています。

令和3年  
5月  
12日(水)

11:00~12:00 入寮受付

11:30~ 昼食

12:30~ 開講・オリエンテーション

12:45~13:00

**導入講義 人材力の活性化について**

総務省地域力創造グループ地域自立応援課人材力活性化・連携交流室「地域の人材力」向上の必要性と総務省のこれまでの取り組み、参加者への期待についてお話しいただきます。

13:00~14:10

**実践事例1 「住民主体の地域づくりのための教育プログラム『島スクール』」**

株式会社WE 代表取締役／上智大学 非常勤講師 戸田 裕昭 氏  
1980年静岡県藤枝市生まれ。大学卒業後、オフィス家具メーカーのイトーキに就職。法人営業、企画を担当した後、新規事業開発チームの地方創生担当として、各地の事業づくりに携わる。2015年度より国交省事業「しまっちんぐ」を企画運営。2016年6月 CSW-Corporate Social Will-事業部を立ち上げ、総括プロデューサーに就任。人材育成、事業アイデアの発掘、事業開発の0→1の代行など、さまざまな企業の新規事業開発をサポート。2018年度より上智大学にて「社会的価値創出のためのプロジェクト形成論」を担当。自分で事業を立ち上げるだけでなく、社会課題を解決する事業を創出する人をサポートする重要性に気づき、デロイトトーマツベンチャーサポート株式会社に転職。ベンチャー企業の事業創出に関わるかたわら、学生・社会人双方に対する教育に力点を置くようになる。2019年度社会起業大学講師。その他、多数大学・教育機関における特別講師なども務める。2020年4月、株式会社WEを設立。教育を通じた社会のあるべき姿の実現を目指し、小学生から大学生・社会人を対象とした授業や企業研修などの事業を展開している。

14:25~15:35

**実践事例2 「地域の情報を発信する上で心掛けたいこと」**

雑誌TURNSプロデューサー／株式会社第一プログレス 常務取締役 堀口 正裕 氏  
『TURNS』プロデューサー、TOKYO FM『Skyrocket Company』内「スカロケ移住推進部」ゲストコメンテーター、(株)第一プログレス常務取締役。北海道生まれ。早稲田大学卒。新しいライフスタイル、自立した自分らしい豊かな暮らし方、生き方を追求し、雑誌「tocotoco」「カメラ日和」「LIVES」等の創刊に尽力。  
東日本大震災後、これからの地方との繋がり方と、自分らしい生き方、働き方、暮らし方の選択肢を多くの若者に知って欲しいとの思いから、2012年6月「TURNS」を企画、創刊。「TURNSカフェ」や「TURNSツアー」、「TURNSのがっこう」といった、地域と都市の若者をつなぐ各種イベントを展開。地方の魅力は勿論、地方で働く、暮らす、関わり続ける為のヒントを発信している。  
国土交通省二地域居住等の推進に向けた有識者委員、国土交通省地域づくり表彰審査委員、農林水産省農業の「働き方改革」検討委員会等、地方創生に関連した各委員、文部科学省未来デザイン政策対話有識者、BBT×JTBCコミュニケーションデザイン「ツーリズム・リーダーズ・スクール」講師、社会起業大学講師、丸の内朝大学講師、TOKYO FM『Skyrocket Company』内「スカロケ移住推進部」ゲストコメンテーター他、テレビ出演、全国の地域活性事例についての講演多数。全国各自治体の移住施策に関わる。

15:50~17:00

**グループワーク 受講者が抱える地域課題について意見交換を行います。**

17:10~17:40

**説明 「地方創生カレッジ」について**

一般財団法人地域活性化センター 事務局長 鶴巻 郁夫 氏  
地方創生カレッジは、国の「地方創生人材プラン」に基づき、地方創生を担う人材を養成するために2016年12月22日に開講されました。176のeラーニング講座で実践的な知識を学ぶことができるほか、必要に応じて実地研修も取り入れることでより深く知識やスキルを習得できるようにする取組です。

18:00~ **交流会** 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

令和3年  
5月  
13日(木)

9:00~9:25

**グループワーク** 1日目に引き続き、地域課題について意見交換を行います。

9:25~10:35

**実践事例3 「地域づくりのマネジメント」  
—つながりをつくり創発を生む仕組みづくり—**

慶應義塾大学総合政策学部 教授 飯盛 義徳 氏  
1987年、松下電器産業株式会社入社。富士通株式会社出向などを経て、1992年、慶應義塾大学大学院経営管理研究科修士課程入学。1994年、同校修了後、飯盛教材株式会社入社。1999年、アントレプレナー育成スクールNPO法人鳳雛塾を設立。2002年、慶應義塾大学大学院経営管理研究科博士課程入学。2005年、慶應義塾大学環境情報学部専任講師就任。2008年、慶應義塾大学総合政策学部准教授、2014年、同教授、現在に至る。2015年、慶應義塾大学SFC研究所所長就任。2017年10月、慶應義塾大学総合政策学部学部長補佐就任。  
域学連携をはじめ、場づくりのプロジェクトを各地で実践し、地域の自走力を高める活動を展開。総務省人材力活性化研究会座長、総務省ふるさとづくり懇談会委員などを務める。「地域づくりのプラットフォーム」(学芸出版社)など著書多数。  
※参考 慶應義塾大学飯盛義徳研究室<http://isagai.sfc.keio.ac.jp/>  
【地方創生カレッジ(https://chihousei-college.jp/) 講座No.57】

10:50~12:00

**実践事例4 「地域おこし協力隊や地域プロマネの活用」  
—外部人材誘致の具体的手法—**

合作株式会社 取締役／さとのば大学 講師 西塔 大海 氏  
1984年山形生まれ。東京大学大学院修了(科学修士)。  
在学中の2011年に東北で震災復興会社を起業。地元自治体や避難所地域と連携してのべ400人以上の地元雇用を創出。2013年からは福岡県の中山間集落に移住し、地域おこし協力隊として活動。  
その後、地域おこし協力隊の支援・制度設計専門家として、北海道から九州まで全国各地の自治体で導入・活動・起業の支援に携わる。また、各地域での移住促進・空き家活用・人材育成・地域観光・場づくりなどの地域プロジェクトマネージャー(プロマネ)経験を生かし、提言やアドバイザーをつとめている。  
旅する大学「さとのば大学」の運営では、大学生や若手社会人向けに地域留学プログラム(海士町や西栗倉村、新富町こゆ財団など)を提供。オンライン講義では、「マイプロジェクト」を中心としたローカルキャリア論や地域プロジェクト運営などの、実践型学習を進めている。  
2020年に合作株式会社を新たに登記。鹿児島に拠点をもち、リサイクル率日本一の町・鹿児島県大崎町にて、SDGs推進協議会を運営している。

13:00~17:00

**講師との直接対話** ①13:00~14:10 ②14:25~15:35 ③15:50~17:00

受講決定通知後の事前アンケートの希望に沿って、講師ごとにグループをつくり、受講者からの質問に講師が応える形式で直接対話を行います。  
直接対話は、講師の話聞くだけでなく、他の受講者の意見を聞きながら、「みんなで学び合う場」です。

講師1 戸田 裕昭 氏 (地域づくり・コミュニティビジネス)

講師2 堀口 正裕 氏 (地域PR・情報発信)

講師3 飯盛 義徳 氏 (人材育成・住民参加)

講師4 西塔 大海 氏 (地域おこし協力隊・地域外部人材の活用)

講師5 三神万里子 氏 (地域金融・資金調達)

17:10~17:40

**グループワーク** 実践事例や講師との直接対話を踏まえ、グループでの議論を深めます。